

むっみ

第68号 2022. 1



福島県土地改良団体職員連絡協議会

目次

新年のご挨拶.....	福島県土地改良団体職員連絡協議会.....	2
確かな感覚で健やかな一年を.....	会長 菅 波 孝 光 専務理事 菊 地 和 明 福島県土地改良事業団体連合会.....	3
新年のご挨拶.....	全国水土里ネット会長会議顧問..... 参議院議員 進 藤 金 日 子	4
第45回総会.....		5
永年勤続 勤続10年になりました.....	会津若松市湊土地改良区..... 鈴木 けい子	7
第43回全国土地改良大会 群馬大会開催 鶴舞う形 群馬の大地 水土里の未来へ ここから羽ばたいて.....		8
年男・年女 日々是好日.....	飯館村土地改良区..... 川 村 初 子	9
新年の抱負.....	阿武隈川上流土地改良区..... 相 山 雅 俊	9
「5年を振り返って」.....	水土里ネット福島..... 宍 戸 凌	10
寅年の特徴と抱負.....	水土里ネット福島..... 浪 岡 裕 太	11
「年女」.....	会津大川土地改良区..... 阿 部 美 紀 子	11
年男を迎えて.....	会津若松市湊土地改良区..... 渡 部 敬 太	12
『虎は千里往つて千里還る』.....	千軒平溜池土地改良区..... 岡 村 泰 典	12
「えっ？還暦？」.....	安積疏水土地改良区..... 市 川 加 代 子	12
新会員のみなさんより よろしくお願いいたします.....	戸ノ口堰土地改良区..... 清 野 一 真	14
よろしく申し上げます.....	水土里ネット福島..... 渡 辺 凱 也	14
宜しく申し上げます.....	母畑地区土地改良区..... 吉 田 善 信	15
よろしく申し上げます.....	水土里ネット福島..... 佐 藤 正 和	15
よろしく申し上げます.....	会津大川土地改良区..... 岩 渕 浩 典	15
土地改良区の職員になって.....	矢吹原土地改良区..... 矢 吹 翔	16
宜しくお願い致します.....	水土里ネット福島..... 鈴 木 悠 理	17
土地改良区職員となって.....	安積疏水土地改良区..... 直 井 駿	17
よろしくお願いいたします.....	富岡町土地改良区..... 川 崎 晶 仁	18

新年のご挨拶



福島県土地改良団体職員連絡協議会

会長 菅 波 孝 光

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、令和四年の新春を迎えたこととお慶び申し上げます。旧年中は本協議会の運営に特段のご支援、ご協力を賜り衷心より厚く御礼を申し上げます。

コロナ禍で、本協議会の活動も難しい局面がございましたが、リモート環境も整っていなかったために令和四年度の事業計画（案）、予算（案）については、副会長に相談し、副会長並びに監査員を招集し決定しております。

令和三年度総会については、コロナウイルス感染対策のため書面表決により、事業計画、予算などを可決して頂きました。（令和二年度から二年連続で書面表決）

また、永年勤続の表彰式も省略となりましたが、表彰を受けられた皆様に、改めてお祝いを申し上げます。

さて、私も会長として、総会で皆様にお会いすることなく、今年七月に二年間の任期満了をもちまして後進に道を託しますが、情報交換会でこれからの土地改良区について、皆様と語り明かす機会がなかった事が残念でした。

ご承知の方もいらっしゃいますが私は改革派の職員です。近年、当改良区の理事監事のご理解を頂き実現出来たことは、役員の就任年齢制

限、員外監事の税理士資格者導入、予算決算科目の施設毎、事業毎の一元会計（例えば賃金は事務職賃金と現場職賃金の二項）です。

こんな私でも土地改良区職員職務とは何か？の答えは、皆様と一緒に。国策である安心安全な食を守り抜くには、自国で必要な食料を自国で生産する事が不可欠であります。食料自給率の向上、そのためには、その生産基盤を強固にする必要があります。その一角である農業生産では、農地・水などの農業資源、農業技術、人材です。この農地・水の機能保全、向上を図ることが土地改良区の役割であり、職員の職務です。

近年、この職務を果たすために、多面的機能支払交付金事業への参画や農地・水の役割などを広く地域住民に啓蒙することも重要になっております。

近い将来、人材不足から営農活動への参画も期待されると推測しております。将来、地域農業を支えるのは土地改良区かもしれません。今も昔も変わらないのは、「やりがいのある仕事、誇れる仕事」です。

話は変わりますが、今年の夏には、参議院議員選挙がございます。一人でも多くの国会議員に土地改良事業の重要性、持続性を理解していただく必要があります。国会議員に理解されなければ予算の獲得も難しくなります。平成二十四年度は大幅に削減され二千百八十七億円に落ち込みましたが、令和二年度は補正予算も含めて六千五百十五億円となっております。

現場の声を国会へ届けて頂く議員が、そして、その議員へ賛同する議員を作って頂かなければなりません。土地改良施設に対する防災減災事業もそのような結果として生み出されたと思います。

最後に、本年が会員の皆様にとりまして、より良い年となりますように、そして、福島県の土地改良事業にとって飛躍の年となりますように、ご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。

確かな感覚で

健やかな一年を



福島県土地改良事業団体連合会

専務理事 菊地 和明

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。年頭にあたり、昨今の旬の話題を考えてみたいと思います。

「コロナよりも怖い感染症がある？」

未だに世界最大の関心事、新型コロナウイルス感染症。テレビもスマホもコロナが語られない日はありませんが、感染症はコロナばかりではなく、インフルエンザを含めて日々変化しています。メディアに流されることなく新鮮な感覚を維持したいものです。感染症情報は「IDWR」検索で最新の脅威が判断できます。今回の経験を活かし、肩の力が抜けた効果的な感染リスク低減策を続けましょう。

「地球温暖化で氷河期から回避？」

昨年十一月開催のCOP26。地球温暖化による環境影響の最小化を目指す「パリ協定」実現に向け、行動計画が議論されました。地球温暖化に関連することでは、現代気候研究の基礎を築いた真鍋淑郎博士がノーベル物理学賞を授賞したことも話題となりましたね。これも大事なテーマですが、単に経済行為が悪という見方だけでは危険です。暴走を避け、常に総合的に判断しながら、様々な努力をしていくことが重要なのです。例えば、もし人間の生産活動がなければ、とうに氷河期が訪れ、

恐竜同様、現在の動植物は一掃されたという学説もあります。

「日本の人口は増加していた？」

クイズ番組に出るほど、我々に減少イメージが定着している日本の人口は、実は、有史以来つい最近まで増え続けてきました。ピークは二〇〇八年の一億二千八百八万人。最新国勢調査で一億二千六百十四万人ですから、未だピークにあると言えます。勿論、今後は大きく下降線をたどります。何事も、気がつかないうちに誤った固定観念に縛られている場合がありますので、注意が必要です。日々接しているSNSなどは特に洗脳されやすい媒体として専門家も警鐘を鳴らしています。

「農業・農村はあこがれの的？」

住んでいる我々が農業・農村を表現すると「少子・高齢化・担い手不足」となりますが、今、こちらに国民の熱い視線が注がれています。にもか^かかわらず我々が気づきにくい理由は ①通信手段の進化により都市と田舎の関わり方が多様化していること ②継続的人口減少で、都市からの移住等が見えにくいこと があげられます。ただし、ラブコールに尻尾を振ってはダメ。国民の評価は「住民自身が地元を魅力を感じているか」で決まります。ところで、あなたは地元を魅力的だと思いますか？

「常に本質を見極める眼を持つとう」

例えばイメージの中でも、映画の「マトリックス」のように空を飛んだり弾丸を避けたりするのは至難の業ですが、日々の生活で物事の本質を見極めようとする習慣は容易に身に付きます。ここで大きな見極め違いが無ければ、仕事もプライベートもムダや迷いが少なくなり、全体がうまく回ってきます。お金や体力いらず、少しの心構えでお得なサプリメントが手に入りますので、是非、お試しください。

コロナ明けまではもう少し辛抱が必要ですが、本年が皆様にとって幸多き一年となることをお祈り申し上げます。

新年のご挨拶



全国国土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進 藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、福島県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していたから、早半年が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和三年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額千八百三十二億円（ＴＰＰ等対策…七百七十四億円、米対策…四十六億円、国土強靱化五か年加速化対策…千十二億円）です。令和四年度当初予算政府原案での土地改良予算は四千四百六十八億円（令和四年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和四年度の予算額は補正と当初を合わせて六千三百億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、

①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）

②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加

③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和

④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の三十％から五十％に嵩上げ）
⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。福島県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ七か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高くて厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。

第45回総会

第45回総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面表決の方法により行われました。

【提出議案】

- 議案第1号 令和2年度事業報告の承認について
- 議案第2号 令和2年度収支決算の承認について
- 議案第3号 令和3年度会費・協賛金について
- 議案第4号 令和3年度補正予算について
- 議案第5号 令和4年度会費・協賛金の額及び徴収方法について
- 議案第6号 令和4年度事業計画について
- 議案第7号 令和4年度収支予算について
- 議案第8号 役員の補欠選任について

【結果】

提出された全ての議案について、全会一致で承認されました。

また、役員の補欠選任については、下表のとおり選任されました。

通常総会が、書面表決により実施されたことにより、例年行っていた総会での表彰式が今回も中止となりました。

表彰者の皆様へ賞状及び記念品をお届けするのみなってしまいましたこと大変残念に思います。

受賞者の皆様の御健勝と今後益々の御活躍をお祈りいたします。



福島県土地改良団体職員連絡協議会役員名簿

(令和2年度～令和3年度)

役職	氏名	所 属	方 部
会 長	菅 波 孝 光	愛谷堰土地改良区	いわき
副会長	石 川 博 利	伊達西根堰土地改良区	県 北
副会長	五十嵐 賢 一	会津若松市湊土地改良区	会 津
副会長	三 浦 宏 幸	福島県土地改良事業団体連合会	土地連
幹 事	菅 野 龍 太 郎	安達疏水土地改良区	県 北
幹 事	根 本 和 俊	安積疏水土地改良区	県 中
幹 事	渡 邊 陽 介	郡山市東部土地改良区	県 中
幹 事	吉 田 昌 照	矢吹土地改良区	県 南
幹 事	武 藤 謙 治	白河市土地改良区	県 南
幹 事	加 藤 健 也	磐梯西部土地改良区	会 津
幹 事	佐 藤 慎 子	駒形土地改良区	会 津
幹 事	諏 訪 美 彦	会津宮川土地改良区	会 津
幹 事	山 内 翔 翔	只見町土地改良区	南会津
幹 事	小 林 憲 都	そうま土地改良区	相 双
幹 事	堀 内 博 明	請戸川土地改良区	相 双
幹事(新)	石 幡 佳 信	福島県土地改良事業団体連合会	土地連
幹事(新)	菊 田 克 彦	福島県土地改良事業団体連合会	土地連
代表監査員	後 藤 学	高郷土地改良区	会 津
監 査 員	渡 邊 浩 彰	大玉土地改良区	中通り
監 査 員	矢 吹 英 信	磐城小川江筋土地改良区	浜通り

永年勤続者表彰

特別功労者

矢吹原土地改良区

鈴木 禎一

30年勤続

そうま土地改良区

福島県土地改良事業団体連合会

福島県土地改良事業団体連合会

青田 和久
佐藤 宏樹
五十崎 静香

20年勤続

伊達西根堰土地改良区

杜川沿岸土地改良区

南相馬土地改良区

引地 亨
緑川 源治
平山 智

10年勤続

郡山市東部土地改良区

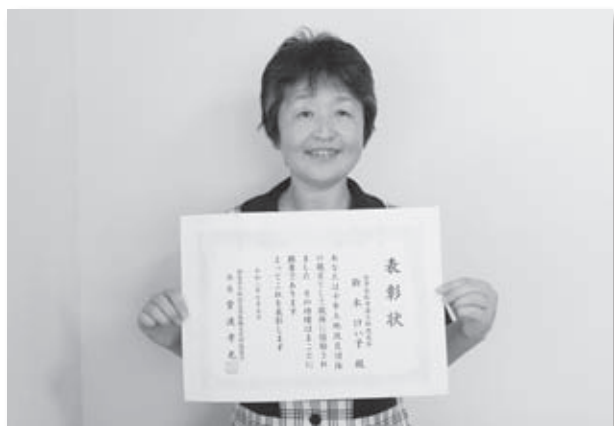
郡山市東部土地改良区

会津若松市湊土地改良区

会津北部土地改良区

会津坂下町只見川土地改良区

荒海 裕一
渡邊 陽介
鈴木 けい子
遠藤 龍輔
渡辺 和都



永 年 勤 続

勤続10年になりました

会津若松市湊土地改良区
鈴木 けい子

皆さま、あけましておめでとうございませう。昨年は永年勤続表彰を頂き、ありがとうございます。

ご縁があり40歳を過ぎてからの転職でしたが地元組合員の方々の協力と役員の方々と職場の先輩方の温かいご指導と家族の理解を得てなんとか今日まで勤務することが出来ました事に感謝の気持ちでいっぱいです。

職員になりたての頃は土地連会津支部と南会津支部との合同で新人職員研修会を数多く開催して頂き、若い方々との学びの機会が楽しかった事が昨日の事に思い出されます。

あつという間の10年間でした。

10年の間には小学生だった末娘が成人となり、子育てと両立していた慌ただしさは無くなり少しゆったりとした時間が流れる様になりました。だからと言って気を緩めているつもりは無いのですが、毎日の業務の中で「ハッ」としたり、「ドキッ」としたりする事がいまだに多く有り、各方面の方々にご迷惑をおかけしています。

(みなさんゴメンなさい)

改良区の職員になり立ての頃も数多くの失敗がありました。その当時の上司に「失敗してもその後きちゃんとリカバリーが出来れば大丈夫なんだから恐れるな!」と言って頂いた事を今も時々思い出しています。

近頃は、会計事務が単式簿記から複式簿記への移行準備において頭の固くなってしまった私は、今までの経験や僅かばかりの知識をすべて否定されたような気持ちになってしまい、何度も研修に参加したり、指導を受けても移行作業がちっとも進まず悩んでいましたが、5月より新入

職員を迎えた事により、簿記未経験者ですが彼女のお陰で本格的な導入に向けて、なんとか進めて行く事が出来はじめています。

彼女をはじめ、多くの方々に助けられ、支えられて、なんとか今までやって来ることが出来ました。

お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、もう少し頑張りたいと思います。

これからもよろしく願っています。



第43回全国土地改良大会 群馬大会開催

鶴舞う形 群馬の大地 水土里の未来へ ここから羽ばたいて



第43回全国土地改良大会は、令和3年10月6日(水)、群馬県高崎市・Gメッセ群馬の地元会場、東京会場、次期開催県の沖縄会場と全国各地をオンラインで結び、農業農村整備関係者が参加、視聴しました。群馬大会は、昨年開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で1年延期され、初のオンライン開催となりました。

式典では、水土里ネット群馬熊川栄会長が、大会は「鶴舞う形 群馬の地 水土里の未来へ ここから羽ばたいて」をテーマとしております。全国の土地改良関係者にとって明るい未来へ羽ばたいていく契機となりますよう心から願うものであります。開会の挨拶をしました。

続いて、全国水土里ネット(水土里ネット和歌山)二階俊博会長が主催者を代表し、農家の方々が期待を持って働けるような環境をつくるため、一致団結して闘っていくと挨拶しました。

このあと、来賓祝辞、土地改良事業功績者表彰式が行われ、本県からは、会津中央土地改良区佐藤美代志理事長が「農林水産省農村振興局長表彰」を、安達土地改良区野地久夫理事長が「全土連会長表彰」を受賞されました。

基調講演、講演、大会宣言の後、水土里ネット群馬より次期開催県である水土里ネット沖縄に大会旗に代え目録が渡され、式典を終りました。(第44回の沖縄大会は令和4年11月開催予定)

◆農林水産省農村振興局長表彰

佐藤 美代志氏

会津中央土地改良区理事長



◆全国土地改良事業団体連合会長表彰

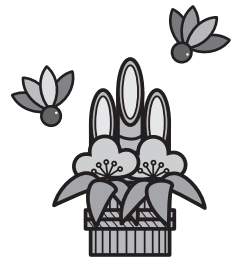
野地 久夫氏

安達土地改良区理事長





年男・年女



日々是好日

飯館村土地改良区

川村 初子

本誌の「年男年女」のコーナーへ
新年の抱負等の原稿執筆依頼が届き
まして「ん？何回目？？もうすぐ、
還暦をむかえるのね!」と私。

いざペンを手にしても、文頭が浮かばないのでインターネットで「還暦」と検索してみることになりました。「還暦をむかえる」ということは、新しいうまれ変わりという意味なのです。新しい人生の出発の日として、希望を持って新たな一歩を踏み出してください」と書いてありました。昔、祖母が私に十二支が一巡して生まれた時と同じ干支に還る、だから還暦ということ話をしてくれたことをふと思い出しました。

また、ある方が、「自分が人生の

折り返し地点に立ったことに気づいた時が本当の意味での還暦と思う。

農作業の言葉で、天地返しという言葉があり、春の種まきに向けて畑の土を天と地がひっくり返るくらいに耕して、肥沃な土に戻すように、人も天地返しをした後に同じ道を進み二期作とするか、違う作物を作る二期作とするか立ち止まってみる年齢であると思う」と話してくれたことを思い出しました。私は二期作か二期作かどう生きるか、もしかしたら、どちらでもないかもしれない。

どなたが話したか：「目の前に起きたことは真実でそれは変わらないけれど、その起きたことをどう捉えるかは自分次第。雨の日も、晴れの日も、いやなことがあった日も、どんな日も日々是好日。自分がいい日と受け取れるかどうかが大切ですよ。過去は今の自分の積み重ねで、未来は今の自分の連続なの」その言

葉を聞いて、私の心の琴線に触れ、人生の指針となる言葉のひとつとなっています。

私は、今、日々の慌ただしい暮らしの中で、季節の変化を感じとれる瞬間がとても楽しみです。生き生きと咲く植物、小鳥のさえずり、雲の動き、自然に癒されます。その土地にあった植物があり暮らしがあるといることでしょうか。季節を五感で味わい心地よいものを選び感性を高め、感謝の心を持ち、日々是好日を胸にいつもの暮らしを丁寧に生きたいとあらためて思います。

時の流れは、ほとんどの出来事を思い出へとかえ懐かし心がほっこりするものですよね。変えられることに目を向けて♪ケ・セラ・セラ♪と心をゆるめ柔軟に過ごせたらいいと思います。

「むつみ」の執筆依頼のおかげさまで昔を懐かしみ、これから考える時間をいただきましてありがとうございます。

本年が皆様にとりまして、良き年でありますよう祈念いたします。

新年の抱負

阿武隈川上流土地改良区

相山 雅俊

令和4年、寅年ということで、新年の抱負について執筆させていただきます。

私がこの世に誕生してから3回目の年男です。二十代のころは、干支がまた1周したなあぐらいの感覚でした。ですが、三十代に近づくにつれ、時の流れがものすごく早く、特に30歳を過ぎてから1年が秒で過ぎ去って行くと感じるようになりました。

そんな私も36歳。世間では所謂アラフォーと呼ばれる分類に所属することになりました。この36年を振り返ると、良かったことよりも悪かったこと、人生の岐路で反省と後悔をすることの方が多かったなと感じます。

まず高等学校卒業後の進路をどうするか、専門学校か大学進学かでただ何となく、特に何を学びたい、やりたいこともないまま関東圏の大学進学を選択しました。在学中に何かやりたいことが見つかるかなと考えていましたが、そんなこともなくな

だ時間だけが過ぎていく毎日でした。本当に両親や家族には金銭面でも精神面でも苦勞をかけてしまいました。そんな大学時代でしたが、唯一頑張ったといえるものは、法学検定試験4級に合格したことです。4級という人大したことないと思いますが、法学部1、2年程度のレベルということ、経営学部という法に関する科目がほぼなかった自分にとっては頑張った方ではないのかと思います。合格すれば卒業論文が免除だったということは秘密です。

無事卒業を迎えましたが、まったくといっていいほど就職活動をしていなかったため卒業間近になっても就職先は決まっていませんでした。そんな時叔母に勧められた陸上自衛隊の入隊試験を受け、辛うじて合格することができました。入隊を1ヶ月後に控えた2011年3月に震災が発生し、入隊が少々伸びましたが、入隊後は2任期4年を満了し除隊、その後約2ヶ月の放浪を経て工場で勤務することになりました。1年間契約社員として勤務したのち正社員になりましたが、土地改良区職員募集の話が舞い込みました。ダメもとで採用試験を受けたところ採用され、阿武隈川上流土地改良区職員

5年目の現在に至ります。

こういった具合に、決して順風満帆とは言えない36年ですが、さすがに3回目の転職はしたくないので、いろいろ苦勞がありますが何とか頑張っております。

そして、両親が孫をご希望のようです。なので新年寅年は親孝行の年にします。両親は将来私が孤独死するんじゃないかと心配しているの、そうならないように婚活頑張ります！



「5年を振り返って」

水土里ネット福島

宍戸 凌

平成29年4月より福島県土地改良事業団体連合会に新規採用されて早5年がたち、5年前は高校生だったことが嘘の様に思います。

農村整備課に配属されて、ほ場整備の設計や計画、その資料を作成するための現地調査、豪雨災害の災害対応など多岐にわたって業務を行ってきました。

作業担当地区は県中・南相馬・浪江・いわきとそのほとんどが海側に集中しており、大震災の被害があったところで作業することが多かったかと思えます。

その場ではやはり、ほ場整備の設計や専門用語が必要とされるものが多々あり悪戦苦闘の日々でした。その分、日々努力、日々勉強し、やらなければならないことをやる自分の責任や、先輩方やほかの職員の方々にも迷惑をかけてしまい、土地連全体の責任になってしまうという、「責任」という言葉を常に考えながら勤めてきました。

しかしながら、設計をするにあた

り採用当初の頃から不安要素だった、土地改良区の皆様や役所関係者の方々、地元の方々とのコミュニケーションは、徐々に慣れてはきているとは思いますが、その前日当日の変な緊張は相変わらずで、今でも慣れません。

まだまだ至らない点がたくさんありますが、先輩方の熱心な御指導のもと、社会の厳しさを肌で感じつつ今後も日々精進し、この土地改良事業団体連合会の職員として未熟ではありますが貢献していきたい所存です。

つきましては、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願ひいたします。

寅年の特徴と抱負

水土里ネット福島

浪岡 裕太

新年明けましておめでとうございます。私は、平成27年度に福島県土地改良事業団体連合会に採用され6年目となりました。今年は寅年であり、私が年男ということで執筆することとなりました。「寅」という文字には「まつすぐに伸びず、引つ張る」という意味があり、家の中で矢を両手でまつすぐに伸びす様子を表しており、中国の「漢書」では、「寅」は草木が伸び始める状態を表すと解釈されているそうです。

また、特徴として、中国伝来の十二支はもとも植物が循環する様子を表しており、その年の特徴につながるというわれています。寅は十二支の3番目で、子年に新しい命が種の中で芽生えはじめ、丑年には種の中で育つがまだ伸びることが出来ません。寅年は春が来て根や茎が生じて生長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。

2021年は前年に続いて、新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちに大きな影響を与え、廃業を

余儀なくされた店舗やむなく退職した方もたくさん存在しました。しかし、一方で飲食配送の「ウーバーイーツ」といった業態の利用が拡大しています。私の中では失敗ばかりで周りに迷惑をかけてしまい、何事も不安や焦りの1日が続く年となりました。

しかし、2022年はあまりストレスを溜めずに、何事にも恐れる事無く立ち向かい、色々なことにチャレンジして行く年に出来たらと思います。そして、寅年は前に述べたように草木が伸び始める状態されていることから、才能や運氣が芽吹き新しい成長が期待できる年だと言われ、物事の成長が期待できる年だといえるため、コツコツ努力を積み重ねて頑張れる年にしたいです。

以上の事を目標に、今以上に福島県土地改良事業団体連合会や土地改良区及び福島県の農業発展に貢献していく所存です。

「年女」

会津大川土地改良区

阿部 美紀子

新年明けましておめでとうございます。今年が寅年で年男年女のコーナーと言うことですが更に還暦を迎える年となりました。

土地改良区に勤務し、早35年、人生の半分以上をこの仕事に従事し過ごせた事、様々な状況の中、頑張れたのも一重に諸先輩や同僚、役員の方々のご指導があったからだとか心から感謝申し上げます。

当改良区は、福島県内でも一早くほ場整備が完了した改良区で、早い地区では昭和39年完了と50年以上経過し、施設は老朽化し改修が必要な水路が随分あります。しかし改修するには組合員の負担も発生し、これ以上賦課金をあげる事は難しく、事業にとりかかっても地元負担は、いくらまでと頭打ちされる難しい状況にぶち当たっていることも確かです。農家の方も今後今より過酷で苦しい運営を強いられるのではないかと不安でしかありませんが土地改良区職員は、とにかく全力で施設を管

理していくことに他有りません。私は事務局長3年目となり、人の上にたつ大変さは未だに変わりません。

職場は自分一人では何も廻らないし、少ない人数の事務所ではなおさらのこと、担当者はいても誰もが対応出来る体制をとる。

それぞれ忙しい時は、みんなでそこを補う、職員の少ない分組合員さんがきた時誰でも対応ができる、当事務所はそんな事務所です。

勤務35年の中で国営事業は、一期二期と2回関わりを持ち、その中で一期平成5年完了の時に一緒に仕事をした方と今回また関わられたり、県職員の方にお久しぶりですと声をかけられると懐かしさで、嬉しい限りです。

現在事務所の平均年齢も随分若返り、お互いに全部が全部わかり合える訳ではないですがお互いに気を配り、お互いの意見を尊重し良い雰囲気作りを心がけております。

組合員や誰もがよりやすい事務所がモットーです。人は支え合って生きていくもの、良い人達に支えられ私にとってやりがいのある職場に勤めることができたことは私にとって何よりの宝です。

年男を迎えて

会津若松市湊土地改良区

渡部 敬太

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

今年は寅年ということで私は人生で2回目の年男を迎えるということになりました。2回目の年男ということとで今年の2月で24歳になります。

学生時代は時の流れをそこまで意識したことはなかったですが、社会人になり20歳を過ぎたあたりから時の流れるスピードの速さに驚いています。つい最近成人を迎えたつもりでいましたが、もう4年も過ぎているのかと思うと一日一日を有意義に生きていかなければならないと思いました。

折角、むつみの原稿を書く機会をいただいたので今年の抱負を述べたいと思います。

まず、一つ目は健康面です。20歳を過ぎてからはやはり学生時代のようになくさん食べても太らないという事はなくなり、少しでも食生活が乱れた生活を送っただけですぐ体型や体重に変化がみられるようにな

り、太りやすく痩せにくくなりました。基礎代謝がやはり年齢が上がるにつれて下がっているのを身をもって実感しました。

また去年はついつい夜更かしをしてしまい、睡眠時間を十分に取れず体調が優れないことが多々ありましたので、食生活だけではなく、しっかりと一日の睡眠時間を確保して、自分の体に優しい生活を送りたいと思いました。

二つ目は目標をもって行動することとを心掛けるです。去年までは特に一日一日何も意識せず、ただただ一日のルーティーンをこなすだけでしたが、例えば今週は朝早起きしてウォーキングを毎日するなど、小さな目標を立ててそれを達成できるように意識して生活したりして、有意義な毎日を過ごしていけるようにしたいと思います。

あまり仕事と関係のない抱負ばかりになってしまいましたが、最後に会員並びに関係者皆様のご健康とご活躍を心よりご祈念申し上げます。拙い文章ではありましたが、最後まで読んでいただきありがとうございます。

『虎は千里往って千里還る』

千軒平溜池土地改良区

岡村 泰典

令和4年、寅年を迎え年男として一言ご挨拶いたします。

令和元年11月に土地改良区へ入所し、2年が経過し3年目の年を迎える事となりました。

初めての業務は、水土里ネットが主催する農業農村整備優良地区コンクールへの参加からでした。東京で開催された全国水土里ネットコンクールでは、素晴らしい方々の前でプレゼンテーションをするという、なかなか経験できない事からのスタートでした。

地元で生まれ、地元で育ち47年、まったく千軒平溜池土地改良区の存在すら知らず、私たちが、毎年問題なく稲作ができるのは、改良区のお陰だという事を知りました。事務所に足を運んで頂いた方に、今の千軒平溜池が出来るまでの苦労話もたくさん聞かされ、入所してなければ、一生聞くことが出来ない貴重なお話をありがとうございました。

しかしながら、現在この地区も高齢化や担い手不足で悩まされてお

り、10年、20年先も今と変わらず、素晴らしい田園風景が見られるのか心配もあります。

昨年は、大野第3地区として、ほ場整備の採択に向け活動も開始しました。

『虎は千里往って千里還る』ということわざがあります。まだまだ、予断を許すことが出来ないコロナ禍の状況ではありますが、私は今と変わらない、そして今以上にすばらしい田園風景が見れる故郷を守って行くため、これまで以上に自分の足で歩き、そして地域の皆様方と交流を深め、日々の動きが結果に繋がるよう行動していきます。以上、令和4年度の抱負になります。

「えっ？還暦？」

安積疏水土地改良区

市川 加代子

新年明けましておめでとうございます。

さて、今回「むつみ」の寄稿依頼を受け取り、年女すなわち還暦を迎える年齢になることに愕然といたしました。

私が、安積疏水土地改良区にお世

話になり36年。結婚し2人の子供に恵まれ仕事、育児に追われた二十代、育児は少し楽になったけど、仕事では責任が出てきた三十代、子供に手がからなくなると、お金がかかった四十代、土地改良法の改正により業務内容の大きな変化に戸惑う五十代、そして現役引退まで残り1年ちよつと。時の流れる早さに驚いています。老眼になり眼鏡がいろいろ増えました。物忘れも多くなりました。なにより言葉が「あれあれそれそれ」と人間の老化への道を着実に歩んでいます。鏡に映った自分もよく見えません。それはその方が良いのかな？

でも嘆いてばかりはいられません。今まで大病せずに過ごせた丈夫な身体に生んでくれた亡き母に感謝、家事や育児を手伝ってくれた亡き義母にも感謝、そして一番の理解者？であろう夫に感謝です。

仕事では、30年前は育児休業制度は無く、出産後8週間で職場復帰の時代でした。今では考えられないことですね。書類作成は手書き、計算は電卓、そこからワープロになり今ではパソコンで何でもできる時代になりました。そしてコロナウイルスにより世界中の仕事や生活が一変

しました。旅行は制限され、在宅勤務、オンライン研修、テイクアウトでの食事も増えました。今までの当たり前がどんなにか幸せな事だと気づいた年でした。

これから否応なく訪れる心身の様々な変化を受け入れ、今も健在の94歳の父を見習い笑顔で歳を重ねていきたいです。

最後に職連協皆様のご健勝をお祈りし、子そしてかわいい孫ちゃん達の未来がどうか幸せでありますようにと願っております。



新会員の みなさんより

よろしくお願
い
たします

戸ノ口堰土地改良区

清野 一真

令和3年4月より戸ノ口堰土地改良区にてお世話になっております清野一真です。よろしくお願いたします。

私が土地改良区を知ったきっかけは高校3年生の時の担任の先生からです。それまで私は進学を希望しており、奨学金の手続きを終えて、志望動機や今後について家族や先生に

相談している時でした。担任の先生から初めて土地改良区の事について知った時は、何をしている会社なのかあまりわからず、更に私が通っていた高校では土地改良区を受験した人の前例がなかったので不安な気持ちで一杯でした。

しかし、進路が進学から就職へと変わり、職場体験を通して農業用水施設の維持管理・改修業務を主に行っている事を知りました。それを知るまで私は実家が農家であり、更に私が農業高校を卒業したのにもかかわらずなぜ水路から水が流れて来るのか、誰がその水路を管理しているのかなど考えた事ありませんでした。調べていくうちに一言で水路に水を流すと言っても大変な事で、多くの方々が関わっている事を知りとても驚きました。

入社してからは学校と社会の違い、そして聞いた事のない専門用語の数々で入社して7ヶ月たった今でも苦戦する日々が続いています。そして解らない事がある度に先輩方が一つ一つ丁寧に教えてくださり、感謝の気持ちで一杯です。

又、コミュニケーションを取るのも苦手で地元の方や工事業者の方と話す時あまり話す事が出来

ない時があります。ですが解らない事がある度にメモを取り、調べ、そして先輩方に聞いて少しずつ専門用語と一般常識を覚えて行こうと思います。

まだまだ未熟でご迷惑をお掛けする事もあると思いますが、一日でも早く仕事を覚え、一人前になれるよう努力して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

よろしくお願
い
ます。

水土里ネット福島

渡辺 凱也

会員の皆様はじめまして。令和3年4月より福島県土地改良事業団体連合会にてお世話になっております、渡辺凱也と申します。よろしくお願いたします。

私は、生まれも育ちも福島市で日本大学工学部の機械工学科を卒業し、新卒として採用していただきました。現在は農村振興部環境整備課に所属し、日々の業務に取り組んでいます。

大学では、機械工学科と言うこと

で自動車などの機械について学んでいたため、農業土木についての知識はほとんど無く、測量などについても他の学科の学生が行っているのを横目で見たことがあるといった程度でした。毎日が新しく聞くことや見ることが多く、勉強になることばかりです。

現在、環境整備課に配属され8ヶ月が経ちました。私は、農業集落排水事業に携わり、処理場の調査・設計が私の主な業務となっています。

これまで大学で学んできた知識がほぼ使えない状況での仕事なので、職場での会議や地方自治体の方々との打ち合わせ等に参加する中で、会話中に分からない用語が出てくることがあります。そのような時は上司や先輩方から教えてもらい、その後自分でさらに調べることで理解を深めています。少しずつではありますが自分の知識として身につけてきていると感じられることが増えてきました。

今後は、自分が質問されても自信を持って返答ができるように知識を身につけていきたいと思っています。

最後になりますが、今後も周りの皆様への感謝の気持ちを持ち、精一

杯仕事に取り組んで参りたいと思っています。これからも引き続きご指導・鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

宜しくお願いします

母畑地区土地改良区

吉田 善信

私は、令和3年1月から母畑地区土地改良区の施設課で勤務しております吉田と申します。宜しくお願い致します。

ちなみに、私の前職は陸上自衛隊で約35年自衛官として勤務し、定年を迎えた後に当土地改良区にお世話になってる所であります。自衛隊勤務中も様々な緊急事態（各種災害派遣等に出動）を経験して参りましたが、当施設課の業務も自衛隊の勤務以上の緊急を要する業務が頻繁で、緊張と戸惑いの日々の連続です。

当土地改良区の農業水利施設の多くは、完成から約40年以上経過しており、耐用年数を遥かに超え、経年劣化が進んでおります。私が勤務す

る千五沢ダムの取水設備や管理設備の故障はもとより、管水路の漏水等の不測事態が頻繁に生起し、受益組合員に多大な御迷惑をお掛けしながら農業用水の供給に四苦八苦している現状です。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により、外出制限や飲食店等の営業自粛が余儀なくされ、米の消費需要が低くなっていました。これに伴い、米の価格が大幅に下落し、今まで以上に受益組合員方々は生産意欲を奪われた事と思います。

このような受益組合員の方々が、今後前向きに農業を営む事ができるよう、その苦悩に寄り添った勤務を心掛け、微力ながら頑張つて参ります。

最後になりましたが、組合員の皆様や各役員の方々、そして各土地改良区職員の皆様、今後共ご指導の程、宜しくお願い致します。

よろしくお願ひいたします。

水士里ネット福島

佐藤 正和

初めまして。令和2年4月から土地改良事業団体連合会の臨時職員としてお世話になっておりました。本年度より職員として採用して頂きました佐藤正和と申します。宜しくお願いします。

職員になってから早いもので8ヶ月経ちました。覚える事が多く一日の時間が短く感じる毎日です。

農地管理課に配属されて測量業務に携わっています。前職では測量の仕事をしてきましたが、確定測量に関係する経験は全くありませんでした。初めて耳にする単語などがあり、日々勉強不足だと痛感しています。上司の方々にご指導して頂き、少しずつ覚えていくところです。

現在の業務は復興基盤総合整備事業に携わっています。東日本大震災から今年で10年以上が経ちますが、被災した相双地区は徐々に復興は進んでいるものの、まだまだ復興していない地区が沢山残っています。一日も早く復興していけるように微力

ながら業務を担う一員として頑張っていきたいと思っています。

自分はまだまだ未熟であります。色々な知識を得て、仕事に活かせる様に早く戦力になれるように、日々精進して参りたいと思っています。

ご迷惑をお掛けすることが多々あるかと思いますが今後とも皆様のご指導・鞭撻の程よろしくお願いいたします。

よろしくお願ひします

会津大川土地改良区

岩渕 浩典

はじめまして。令和3年1月より会津大川土地改良区職員となりました岩渕浩典（いわぶちひろのり）と申します。1月より臨時職員として勤務しておりましたが、4月より正職員となりました。

高校卒業後、大学で4年間仙台市、就職してから2年間は宮城県南部の大河原町というところに住んでおりました。以前は金融機関に勤めておりましたが、退職を考えていたタイミングと転勤で地元の会津に

戻ってきたタイミングが重なったこともあり、退職しました。

退職後は漠然と公務員になろうという思いで勉強を始めましたが、退職してから試験までの期間が短く、勉強時間が足りず落ちてしまいました。アルバイトをしながら勉強し、来年の公務員試験に備えようとしていたところ、偶然、会津大川土地改良区の募集を見つけました。親の勧めもあり採用試験を受けたところ、採用となり現在に至ります。

出身地ということもあり土地勘はあったのですが、家族は農業を営んでおらず、私自身も農業に触れたことがほとんどなかったため、とても不安でした。しかし、今では仕事にも大分慣れてきました。今でもわからない言葉、仕事内容ばかりですが、都度諸先輩方に教えていただきながら、少しずつ覚えていく最中です。物覚えが悪く同じことを聞いてしまうこともあります。そのたびに、丁寧に教えて下さる先輩方には、感謝の気持ちでいっぱいです。もうすぐ1年が経つというところで、今までは諸先輩方に頼りきりだったことも、これまでに覚えてきたことを活かしながら、来年、再来年と今後につなげていきたいと思っています。

また、今年も昨年と同様に新型コロナウィルスの影響もあり、研修等の様々なイベントが実施できないだけでなく、プライベートでも何かと不自由な年だったと思います。このような状況のせいで、交流の機会がほとんどありませんが、少しでも早く研修等のイベントが実施できるようになることを願っています。

最後になりますが、まだまだご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでも早く一人前の職員となれるよう精一杯努力していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

土地改良区の職員 になって

矢吹原土地改良区

矢吹 翔

令和3年4月より、矢吹原土地改良区でお世話になっております、事業係の矢吹翔と申します。電話の対応や名刺交換の際に、矢吹町に住んでいるんですかとよく聞かれますが、生まれも育ちも須賀川市です。今回は新会員の「むつみ」に載せる

執筆の依頼ということで、私が土地改良区で働き始めて感じたことなどをこの場をお借りしてお話できればと思います。

私は去年まで、岩瀬農業高等学校の環境工学科に通い、土木施工や測量を中心に学業に励んでおりました。今年から新卒として採用していただき、早8ヶ月が経ちます。今では業務の方は少しずつ慣れてきましたが、採用当初は、とにかく役員の皆様や組合員の方々の顔と名前を覚えることが大変でした。土地改良区がこんなに大勢の人と関わる仕事だと思っていなかったので少し驚きでしたが、いろんな人と話ができることに楽しさを感じています。

仕事については、水の管理をする仕事だと聞いていました。私自身、実家が農家というわけでもなかったのですが、稲作については何の知識もない状態でしたが、高校で水循環という教科を習っていたため、少しは理解しているつもりでした。しかし、実際に働いてみると初めて聞く専門用語ばかりで、まだまだ勉強不足だということを実感しました。

私は今、工事に関する業務を主に行っています。工事の発注の仕方や積算システムの使い方など、未だに

毎日が勉強の日々です。高校では、特に資格の取得に力を入れてきました。その資格と、3年間学んだ知識を活かしていずれは業務を全て一人でこなせるようになることを目標にしています。

半年経った今でも、専門用語を理解できないことや、同じミスを何度もしてしまうことがあります。一から丁寧に教えてくれる職場の上司や先輩方に助けられ、少しずつではありますが、業務の内容を理解し、次へ活かすことができていると思います。働きやすい環境、そしてミスをしてフォローしてくれる上司や先輩方への感謝の気持ちを忘れずに、一日でも早く一人前になれるよう、これからも努力していきたいと思っています。

最後になりますが、自分の役割に責任を持ち、精一杯努めてまいりたいと思いますので、今後とも、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

宜しくお願い致します

水土里ネット福島

鈴木 悠理

初めまして。令和3年4月より福島県土地改良事業団体連合会に採用していただき農村振興部農地管理課に配属になりました鈴木悠理と申します。宜しくお願い致します。

私は、福島県内の高校を卒業後、測量の専門学校を卒業し東京都内にある都市計画コンサルタントに就職し令和3年3月までの間に宮城、岩手、茨城などで東日本大震災後の復興における土地区画整理事業に従事しておりました。福島県は原発事故による放射能汚染の影響もあり復興事業は遅れています。隣県の復興を最後まで見届けることができたので生まれ育った福島県の復興に役立つ仕事ができたいと想い様々なご縁により現在に至ります。

採用から8か月が経ちましたが経験者とはいえ、まだまだ覚えることがたくさんあり新たに学ぶこともあり毎日が勉強です。もちろん前職で経験したことを活かせる機会も多々あり身に付けた知識や技術を活用し

さらに磨いていけることを嬉しく思います。

また、いろんな現場で作業をしながら、先輩方に教えてもらい新たな知識やスキルを習得することができ、仕事に対してのモチベーションも高まります。

さまざまな趣味を持った人が多く、仕事面はもちろん、私生活でも何かあったら気軽に相談できる方がいるのは素晴らしい環境だと思います。

これからの目標として、向上心を持ち続けてより多くのことを吸収し様々なことに柔軟に対応できるよう日々精進して参りたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願い致します。



土地改良区職員と なつて

安積疏水土地改良区

直井 駿

はじめまして。令和3年4月より安積疏水土地改良区に勤務しております直井駿と申します。よろしくお願い致します。

4月に採用となり、私は水利課に配属となりました。小学生のころに安積疏水について学び、十六橋水門や上戸頭首工などに見学に行き、安積疏水が農業の発展に大きく貢献し、また歴史的にも価値がある施設であることは伺っておりました。しかし、恥ずかしながら私は、土地改良区の仕事はどのようなことをして、どのようなものであるのかということを知りませんでした。

実際に仕事を始めて、特に驚いたのは水路の数についてです。数があるといっても郡山市内だけで20〜30路線くらいだと思っていたのですが、本宮や須賀川などにも水路があり、管理線がおおよそ280路線ほどあると聞き、幅広く様々な地域に水を届けていることを知りました。そういったこともあり、水路を覚え

るのには苦勞をしました。1年間を通して水路の巡回に行くのですが、始めは水路に向かう道も水路も分からず何も分からない状態からのスタートでした。先輩方が運転してくださる車に乗り毎日様々な水路を見に行きました。先輩方の指導のもと、徐々に水路を覚えていくことができ、巡回のルートなどは覚えることができました。しかし、あまり行かない水路や施設に関してはまだ覚えられていないところがあるので、さらに勉強を重ねて早く覚えられようようにしていきたいです。

非かんがい期になると、様々な研修や木の伐採などを行うことが多くなりました。最近では、チェーンソーの研修に参加させていただき、慣れないながらも使い方を覚えるために必死に取り組みました。木の伐採では、水利課の先輩方と協力し合いながらケガなど十分に気をつけて水路やため池などの維持管理に支障がある木の処理に努めています。時には天候に悩まされ、力仕事で大変なこともあります。精一杯取り組んで行きたいと思っています。

私自身、これから仕事をしていく中で様々な経験をし、時には壁にぶつかることもあると思いますが、そ

これらの経験を活かして日々成長していきたいと思います。まだまだ半人前の私ですが、先輩方から指導していただき、一日でも早く一人前になれるように精進していきたいと思います。今後も土地改良関係の皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

よろしくお願いします

富岡町土地改良区

川崎 晶仁

会員の皆様初めまして。令和3年4月より、富岡町土地改良区に勤務しております。川崎晶仁と申します。よろしくお願いいたします。

私が富岡町土地改良区に勤務し始めてから早9か月となりました。入ったばかりの私は上司の方に土地改良区って何をするところなのか、まずそのことについて説明を受けました。しかし、説明を受けても専門用語が多く全く頭に入ってきませんでした。そして、いわき市が地元ということもあり、地名を言われても分からず、地図を開いて場所を探す

ところから始まりました。勤務し始めてから3か月ほど、土地の名前、土地改良区はどんなことをするところなのかを必死に学びました。当初に比べればため池の場所や、水門の場所、土地の名前を覚えましたが、今でも分からないことがたくさんあり、勉強の日々が続いています。

テレビで営農している場面など映った時に、ここの畦畔綺麗だなとか見る観点が変わりました。通勤している最中でも作付されている場所が多く、側溝の様子や畦畔の様子を見るようになりました。少しずつ自分なりに成長しているのだろうか実感し嬉しく思いましたが、土地改良区の一員として勤務していく中で、一番苦手だと感じることはありません。それは、農家さんのお話です。「○○地区の水路なんだけど…」と聞かれたとき、私ははつきりお答えできていません。何故なら○○の水路がどこから流れてきているかまだ理解していないからです。自分の悪いところはその場所のみ理解し、周りの影響される部分を理解しないまま納得したり、考え方が違うのにそのまま進んでいってしまうところです。そして自信が無いときははつきりと喋れず、相手を不安がらせて

しまうところです。解決方法としては、上司、先輩方から指導をもらい、自分の考え方を変えていき、自分から進んで上司、先輩方に聞いて間違いを見つけて直しています。

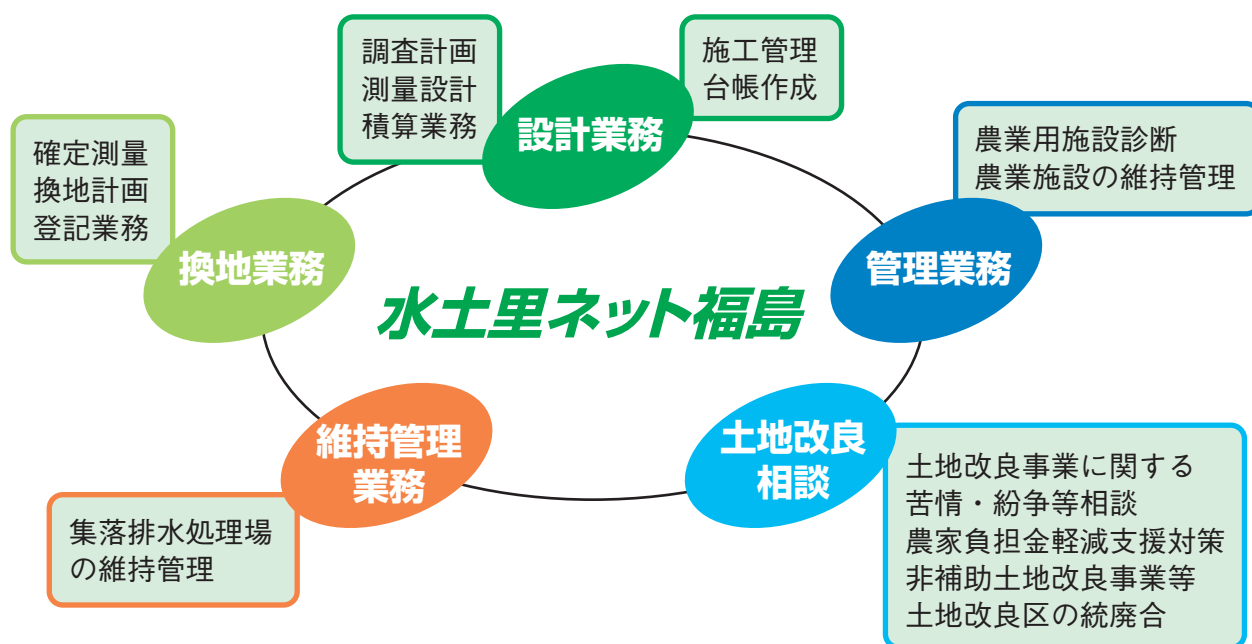
まだまだ分からないことが多く、覚えることがたくさんあるとは思いますが、一日でも早く組合員の皆様、上司、先輩方のお力になれるよう、一生懸命頑張っていきますのでご指導の程、よろしくお願いいたします。



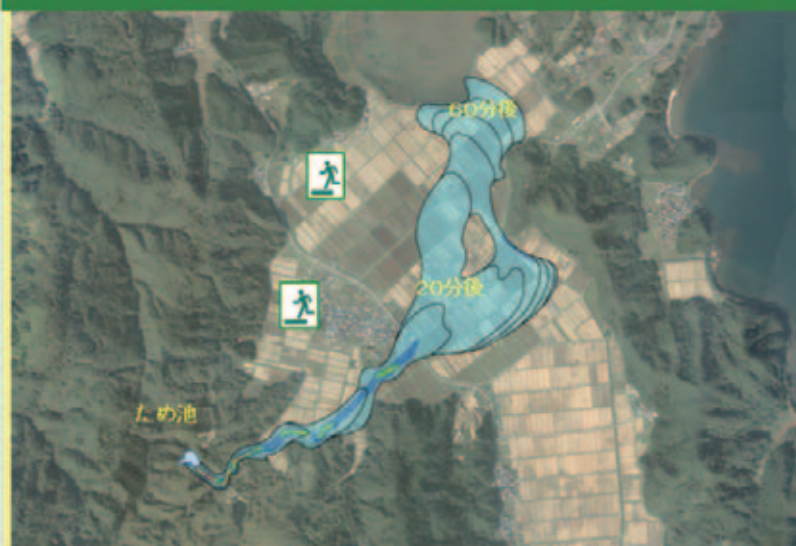
表紙写真 「ふくしま むらの輝き2020」 写真コンテスト
「稲刈り早く終わらないかな」 佐藤 弘 さん

水土里ネット福島は、水土里を未来につなぐ農業農村整備に取り組んでいます。

水土里ネット福島は、会員並びに地域社会の要請に応じた、新たな業務及び支援に向けて各種の取り組みを展開しながら、活力ある農業・農村づくりのお手伝いをしております。



水土里情報システム(GIS)を活用した、ため池ハザードマップ作成への支援



本会が所有する【水土里情報システム】と【簡易氾濫解析ソフト】を使用して、ため池が決壊した場合の浸水想定区域図が作成できます。



福島県土地改良事業団体連合会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地

TEL 024-535-0371

FAX 024-535-1200

<https://www.midorinet-fukushima.jp>